

西内さん(奈路)一家

南米(ブラジル)へ



西内さん一家 (奈路)の南米移住。左から長女八重子、次女千恵子、三女寿子、長男五郎、西内さん。右は奈路市街。

◇南米も今は隣りだ 気軽に移住◇

奈路(上宮)で農業を営んでいた西内秀明(50)さん一家は、六月二十五日なつかしい故山をあとに南米への旅についた。

西内さん一家の住居は、秀明さんの父親繁(76)さんからの熱意であり、二代目にしてその夢が実現したという話の持主であり、部落でもむかしからの家として知られている。移住するのは秀明さんと妻壽美(44)さん、二女千恵(17)さん、三女寿子(14)さんで、長女八重子(11)さんは他家に嫁っており、両親は弟さんと共に。

南米(ブラジル)へ移住することになった。西内さんの入植する場所は、ブラジルサンパウロ州シヤカレ地区で、現地約七ヘクタールの土地を購入し、おりに、永年作物(果樹)を主とし、家畜を取り入れる。野菜などを栽培し、多角的経営をもくろんでいる。その抱負を語った。

出発の当日は、市役所での壮行会に出席し、市長ほか職員のはげましを受け、西内さんは七月二日横浜を西航船で高知港をあとにし、一家は、七月七日横浜を出航し八月十七日目的地ブラジルに着く予定。

写真は、市役所での西内さん一家と船上で別れをおしむ西内さん。

募集中の移住地

一、南伯雇用農移住者
募集数、一〇〇名
携行資金、三万円以上
二、リオ・グランデ・ド・スール州分益移住者
募集数、一〇〇名
携行資金五万円以上
三、コチア産組員単独移住者
募集数、七六〇名
携行資金、二万円以上
四、コチア産組員若夫婦雇用移住者
募集数、一〇〇組(二〇〇名)
携行資金、三万円以上
五、力行単独青年移住者(南伯各地)
募集数、毎月三〇名
六、パラグアイ開アル

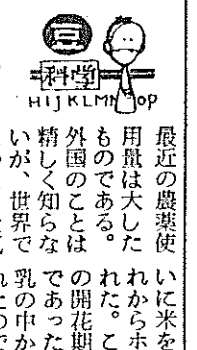
ト、パラナ移住地自営開拓移住者
募集数、四〇〇名
携行資金、十四万円以上(土地代前納金七万円は別)

七、アルゼンチン開拓移住者募集数、五〇名
携行資金十四万五千円以上

八、ブラジル国技術移住者
受け入れ社、バルデラ重工他四社
募集数、六五名
締切口、七月三〇日
なお資格、条件、申込書類等詳細については産業経済課にお問合せ下さい。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。



農繁期の栄養は

農家は、これからネコの手も借りたほどの忙がしの季節になる。したがって食事をあつちか家庭の主婦も食事の用意をおちおちおこなう。栄養のバランスはやぶれ、その上に過労がたたまると、秋口には思わぬ病気になる。秋口に思わぬ病気になる。秋口に思わぬ病気になる。秋口に思わぬ病気になる。

農繁期の作業は

農繁期を迎えて共同作業や共同炊事を図り、能力的にするため家族会議を開いて、老人や子供などもその能力に応じた家事の分担を決めることが必要である。

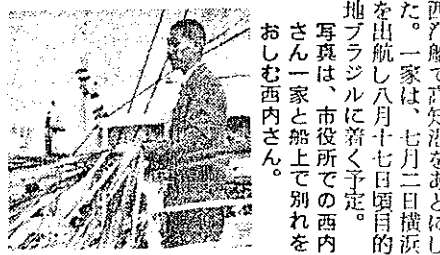
家族会議で

農繁期を迎えて共同作業や共同炊事を図り、能力的にするため家族会議を開いて、老人や子供などもその能力に応じた家事の分担を決めることが必要である。

所得税の納税を

昭和36年申告所得税第1期分の納税が参りました。納税は忘れなく必ず納期限の7月31日までにすまして下さい。期限内に遅れまると、余分に利息税や延滞加算税を納めねばならないので大変不利となります。

お忘れなく



農繁期の栄養は

農家は、これからネコの手も借りたほどの忙がしの季節になる。したがって食事をあつちか家庭の主婦も食事の用意をおちおちおこなう。栄養のバランスはやぶれ、その上に過労がたたまると、秋口には思わぬ病気になる。秋口に思わぬ病気になる。秋口に思わぬ病気になる。秋口に思わぬ病気になる。

農繁期の作業は

農繁期を迎えて共同作業や共同炊事を図り、能力的にするため家族会議を開いて、老人や子供などもその能力に応じた家事の分担を決めることが必要である。

家族会議で

農繁期を迎えて共同作業や共同炊事を図り、能力的にするため家族会議を開いて、老人や子供などもその能力に応じた家事の分担を決めることが必要である。

所得税の納税を

農繁期を迎えて共同作業や共同炊事を図り、能力的にするため家族会議を開いて、老人や子供などもその能力に応じた家事の分担を決めることが必要である。

お忘れなく

森山種鶏場
南園市大浦 (山崎) 電話475番

産 業

産 業

市大浦、県農試はさきん病虫発生注意報を出したが、これは、発生を警告している。

産 業

産業界の発展を促すべく、市では市の単独事業として、本年度土地改良事業を推進することとなり、これが市の負担限度額として、百五十万円が予算に計上されることとなっている。

市では市の単独事業として、本年度土地改良事業を推進することとなり、これが市の負担限度額として、百五十万円が予算に計上されることとなっている。

健康者の

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

健康者の

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

健康者の

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

健康者の

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

健康者の

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

健康者の

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

行きがいも

一、南伯雇用農移住者
募集数、一〇〇名
携行資金、三万円以上
二、リオ・グランデ・ド・スール州分益移住者
募集数、一〇〇名
携行資金五万円以上
三、コチア産組員単独移住者
募集数、七六〇名
携行資金、二万円以上
四、コチア産組員若夫婦雇用移住者
募集数、一〇〇組(二〇〇名)
携行資金、三万円以上
五、力行単独青年移住者(南伯各地)
募集数、毎月三〇名
六、パラグアイ開アル

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

ある海外

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

ある海外

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

ある海外

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

ある海外

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

ある海外

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

ある海外

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

働きがいも

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。

本場のヒヨコ
卸 直 売
森 山 種 鶏 場
南園市大浦 (山崎) 電話475番

農業者にとって一番労働の激しい農繁期がすぎると、体重が平均二キロは減るといわれています。そして梅雨期という環境の悪条件を経ては、暑さと、高温多湿の夏がやってきます。従って八月頃は疲労している身体力の消耗が激しいという二重の危機にさらされ、農業者の発病がその時期に最も多くなるのが常です。